

# プロジェクト名：大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクトin徳山下松港

## プロジェクトの概要

- 大島干潟は、徳山下松港内の浚渫土砂を活用し造成された約29haの人工干潟（平成29年度完成）です。干潟造成後より、アマモ場・コアマモ場が新たに形成されており、現在までに、**多様な生態系が構築**されています。
- 平成29年11月、大島地区住民と山口県漁業協同組合周南統括支店（以下、漁協）に所属する漁業者の参加・協働により、貴重な地域資源である干潟を活用した、地域の活性化を目指して「**大島干潟を育てる会**」（以下、育てる会）を設立し、大島干潟の保全活動を行っています。
- 育てる会**は、**アサリ・カキ資源の保全や増殖活動**、同干潟内のアマモ場・コアマモ場の保全のほか、国・周南市が連携して毎年実施する**環境学習活動の支援**を行っています。**漁協**は、漁業権が設定されている干潟を含む海域での活動について、運営委員会に諮り許可するとともに、**アマモの保全のため、干潟内をナマコ桁網漁の禁漁区に設定**しています。**周南市**は、干潟の管理者として育てる会の活動を支援し、昨年度からブルーカーボン推進事業を立ち上げ、**大島干潟を拠点に周南市内の他地域にもブルーカーボン生態系の創出・拡大**を実施します。
- これら**3者**が連携協働して実施している大島干潟での活動は、**今後の継続的な活動により多様な生態系の維持及び拡大**につながっていくことに期待されています。

## プロジェクトの特徴・PRポイント

- 大島干潟での保全活動を通じて、ブルーカーボン生態系の維持・拡大が行われており、**生物多様性の向上や地球温暖化の抑制**にも貢献しています。
- 地域資源である大島干潟は、保全活動の拡大による**地域の活性化や水産振興**を目指しており、ブルーカーボン・オフセット制度を活用して、ここから多くの人々がつながることによって、さらなる**保全活動の活性化及び持続化**、また**カーボンニュートラルへの貢献**を推進していきます。

